

# 読書の秋

「読書の秋」といって、各クラス1名ずつ、保護者の方に感想とお薦めの絵本を教えてくださいました!!

お気に入り: 「はらぺこあおむし」  
 ▶ おおきなお子さんを多く思いますが、なりゆきを大好きです。ちゅうりっぷ組の頃から「けいごが〜」と口ずかす、最近はずっと持っている絵本と同柄のバスタブを本と比べながら組み立てたりしています。曜日や巻数のしきを美しい色彩と笑って学んで大好きです。

おススメ: 「1ツタンのたんじょうび」  
 ▶ お友達みんなから「ないしょ!」と言われて一人になつた1ツタンの寂しさと、お誕生日をサプライズで祝ってもらえるうれしさの大きな心の変化が「子どもの心」にインパクトがあるようです。

『まるまる』  
 マルから様々な表情があらわれるのが面白く、穴あきマルからのぞきこむところが楽しんでいます。

『GOOD NIGHT GORILLA』(おやみゴリラくん)  
 セリフはほとんど "Good night"しか出てきませんが、絵だけでもほのぼのとしていて親も楽しめます。夜の動物園のワクワクする感じが良いです。

おススメ。絵本  
 『ちゅうりっぷのホットケーキ』  
 『ちゅうりっぷのホットケーキ』はどれも好きみたいですが、一番好きなのはこのホットケーキです。

『そのまめくんのペット』  
 文章が長いので、右ほど早いかな?と思いましたが、意外と聞いてくれます。

ご協力、ありがとうございました!!

# 袁だより 11月号

矢向つぼみ保育園

少しづつ木の葉も色づき始め、食欲の秋、遊びの秋を迎える季節となりました。

最近の子どもたちは異年齢で遊ぶことが増えてきました!! ももぐみさんはちゅうりっぷさん・たんぽぽさんと手を繋いで、一緒におもちゃで遊ぶ。お兄さん・お姉さんの顔が見られるようになりました。

ちゅうりっぷごみさんは、たんぽぽさんの顔をのぞいたり豆をなでたり、でもりえ、ひり邪魔されて泣いたり... 少しづつ小さい子との関わりが見られるようになっています。

たんぽぽさんは、お兄さん・お姉さんのやることすべて真似、こなしています! おもちゃの貸し借りも練習中です。

各クラスそれぞれ成長が見られ、毎日楽しく過ごしています。

これからどんどん寒くなり、風邪を引きやすくなってきます。体調に気を付けて日々過ごしていきたいと思っております。

お芋掘り・2歳の遠足など、秋ならではの行事をたのびりと味わっていきましょう。

11月の行事	12月の行事
8日(金) 2歳遠足	18日(水) (2月生まれの) 誕生日会
20日(水) 避難訓練	19日(木) 避難訓練
26日(火) 11月生まれの 誕生日会	25日(木) クリスマス会
?日 芋掘り	

※詳細がわかり次第お伝えします

# 11月生まれのおともだち

- 19日 かさはら やまとくん 2さい
  - 4日 くわじま たいがくん 3さい
  - 22日 こにか ひなちゃん 3さい
- ## おたんじょうび おめでとう!!

# 親子であそぼう会

ご参加ありがとうございました

10月26日(土)に親子であそぼう会が行なわれました。あいにくの雨で室内となりましたが、普段の保育園の様子も見て頂けたかと思っております。いつもと違う雰囲気少し緊張気味の子どもたちでしたが、いつも保育園でやっている体操やママ・パパの自然した勝負を見て、室内公園では、リラックしてママ・パパと遊んでいる姿が見られました。

雨の中、ご参加頂いた保護者の方、ありがとうございました。



月の園長コラム

## 過保護と過干渉

子育てをするとき、いつも親には不安が付きまとう

これをしてあげたらわがままになるのではないか。

我慢のできない子では困る。

できることをしないんで、ずるい子になるのではないか。

子どもの言いなりになるのはいけない、親が主導権を握らないと。

いつも子どものことを見つめながら頭の中をそんなことがぐるぐると回っていることでしょう。

この心配は常に子どもに親が求めていることに通じる。

物を取り合っていれば、人に先にあげるくらいの優しさがほしい。

ここで我慢することでお兄ちゃんおねえちゃんになれるのに。

子どもの求めることと、親が子どもに求める姿が違いますね。

それはそうです。

子どもは常にいま必要なことを求めています。

それに比べて、親は将来身に着けてほしい理想の姿を子どもに求めてきます。

一つ言えることは今があって将来があるということ。

今、満足出来ていない子は、親の思うようには育たないでしょう。

我慢も優しくなることも、いつか納得できる時が来ます。

でも、それは自分が優しくされるという体験を沢山出来た時、人にも優しくなれるのです。人のために我慢もできるのです。

困っているときいつも助けてもらえない、自分でやりなさい、と。

不安なときいつも突き放されるのでは、子どもは人に頼ることもできず自分一人で解決しなくてはなりません。

だから人が困っていても手を貸すことが出来ないのです。

まだまだ親の保護が必要な時期に、まだまだ甘えたい気持ちがいっぱいある時期に早く大人としてのモラルを求めれば、できない自分を嫌いになるでしょう。そしてできないお友達のことも理解してあげることが出来ないままになります。/



過保護は子どもをダメにする。そう思っている人は多いです。

でも、子どもをダメにするのは、過保護ではありません。

過保護とは子どもの思いをかなえてあげること。それに対して過干渉と言うのがあります。過干渉は子どもの望んでいないことをすることを言います。

自分で食べたいのに、こぼすから、汚れるからと食べさせてしまう。

この洋服が来たいのにもう出したんだからこっちを着なさいと。自分のことは自分でしたいのに、時間がかかるから親がやってしまう。

このおもちゃがほしいのに、こっちにしなさいと親が決めてしまう。

どうですか、やだやだ言ってる内容とは、そんなことではないでしょうか。

自立心を養いたたいはずなのに、子どもの育つ芽を潰していませんか？

そういうことを過干渉と言うのです。

また生真面目すぎるお母さんの子供は苦労します。

一度できたんだからずっとやってほしい。自分でやると言ったんだから最後までやりなさいと。子どもはやってほしいという依存と、自分でと言う気持ちと常に筋が通っているわけではなく、それが交互にやってくると言われています。

一度できたらもうやってもらえなかったり、やると言い出したらできなくても最後までやらされるのでは、おちおちやってみようなんて思えなくなります。

だったらずっとやってもらった方が楽だな、なんて。

いつまでもやってやってと言って困ると思っている方の中には、こんな風に子どもの芽を潰していないか思い出してみてください。

過干渉の人は子どもを愛し子どものためをうんと思っている人に多いです。どれもこれも子どものためを思ってすることだから。でも、よく考えてみて・・・意外とそれは親の都合がよいことを求めているのかもしれないね。

これには早く気付く方が良いのです。過干渉は子どものため子どものためと言って一生続くでしょう。

思春期になって反抗が激しくなるのは、この過干渉で育てられた子に多いです。親の言うとおりにするのはもう嫌だと爆発します。

子どもは何を望んでいるだろう、これを常に考えてあげることが大事です。子どもの思うようにすることがいけないのではなく、親がしたいようにしているだけの過干渉がいけないのです。

2才3才のやだやだ期をどう過ごすかと思春期になった時にどう対応するかは似ています。どちらも子どもが大きく大きく成長する時期にあるのです。

子どもが自分で育とうとする大事な時期なのです。子どもは何を望んでいるのか、どうかその望んでいることに応えてあげてください。そのために少し時間をかけてあげてください。

過保護で悪い子は育ちません。自分の気持ちを大事にされて育った子はちゃんと親離れしていけるものですから。

